



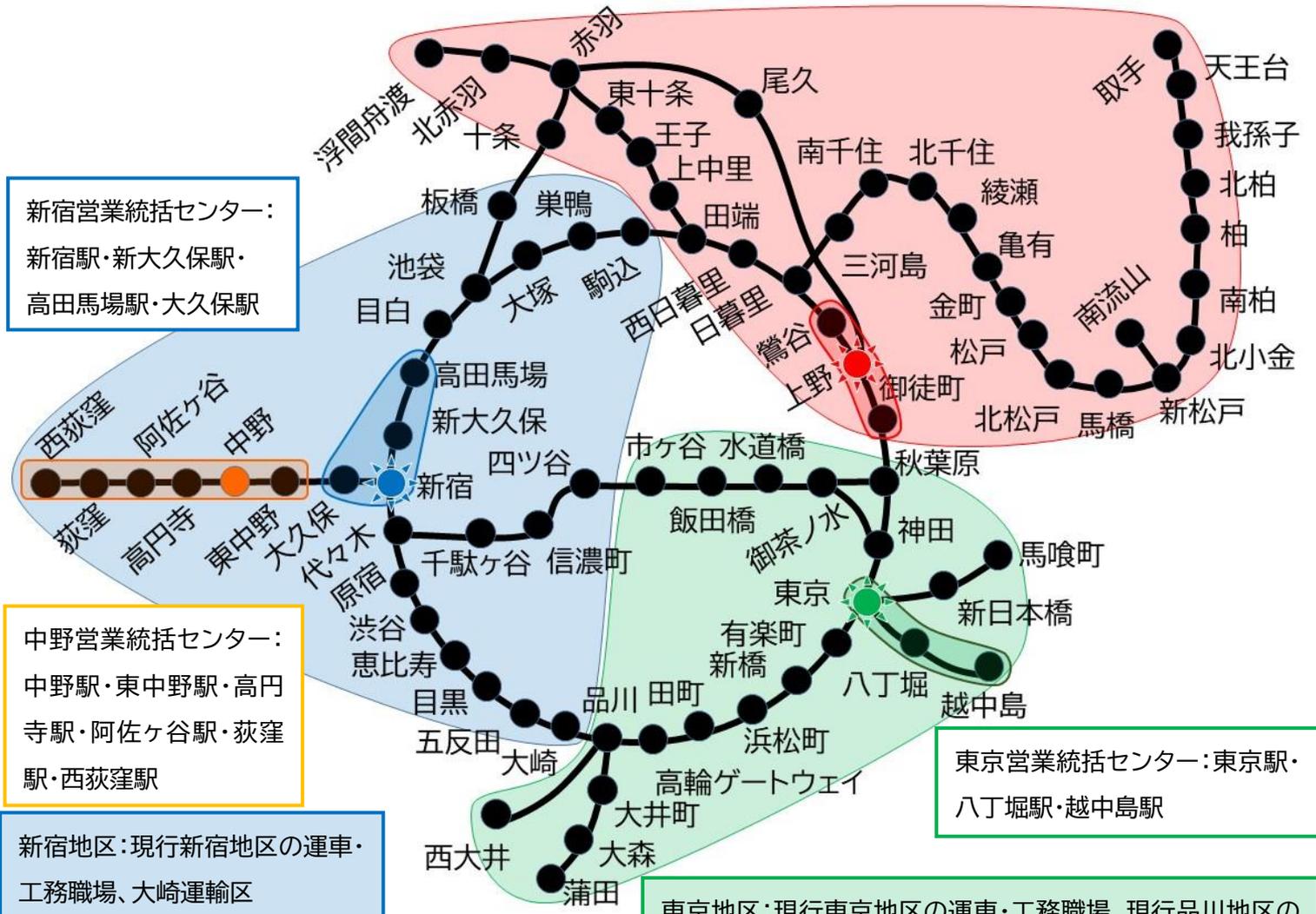
「東京支社の現業機関における柔軟な働き方の実現について」提案を受ける！ < その1 >

12月17日、地本は支社より「東京支社の現業機関における柔軟な働き方の実現について」提案を受けました。内容は、右記の通り、東京支社エリアにおいても営業統括センターを設置するほか、マネジメントオフィスを設置することで、地区の見直しを行うというものです。

- **東京営業統括センター、新宿営業統括センター、中野営業統括センター、上野営業統括センター**を設置する。
- 東京営業統括センター、新宿営業統括センター、上野営業統括センター内に**マネジメントオフィス**を設置する。
- 地区区分を**5地区から3地区**に見直す。
- マネジメントオフィスの設立及び地区区分の見直しにあわせ、**各地区指導センターは廃止**する。
- 実施日：2022年7月1日(金)

上野地区：現行上野・松戸地区の運車・工務職場

上野営業統括センター：上野駅・鶯谷駅・御徒町駅



新宿営業統括センター：
新宿駅・新大久保駅・
高田馬場駅・大久保駅

中野営業統括センター：
中野駅・東中野駅・高円
寺駅・阿佐ヶ谷駅・荻窪
駅・西荻窪駅

新宿地区：現行新宿地区の運車・
工務職場、大崎運輸区

東京営業統括センター：東京駅・
八丁堀駅・越中島駅

東京地区：現行東京地区の運車・工務職場、現行品川地区の
工務職場、田町運転区、大田運輸区、東京総合車両センター



「東京支社の現業機関における柔軟な働き方の実現について」提案を受ける！ <その2>

提案にあたり、議論を行う！

これが完成形なのか？

今後変化があれば提案を行う。

営業統括センターやマネジメントオフィスの規模に決まりはあるのか？

地域の環境や基地再編成なども含め、規模や業務実態などを踏まえて検討。

営業統括センターは新しい庁舎を建設するのか？マネジメントオフィスの具体的な設置個所は？

建設は検討していない。具体的な設置個所は、現段階でここですということは示せない。

営業統括センターが出来ることの変化点は？

これまで支社や地区指導センターを通していたものが現場で進めやすくなる。

営業統括センターが設立される駅の社員の所属は？営業統括センター内での本体から委託駅への異動は？

営業統括センター所属。委託駅への異動は考えていない。管理駅、非管理駅の考え方は変更はない。

勤務作成はどこが行うのか？

基本は営業統括センターが行なうことになる。

帳票や月報などの現場での業務は？

現在現場との調整中。職場が変わっても対応出来るようにしていく。

各駅の業務執行体制・標準数・作業ダイヤは？

検討中あるいはこれから検討していく。別途お知らせする。

マネジメントオフィスの役割・業務は？

地区指導センターの業務を継承し、お客さまに近い場所での価値創造を推進していく。地区指導センターでも担っている企画業務は営業統括センターでも出てくるが、それぞれの現業機関の支援も担ってもらう。

地区が変更となる根拠は？

今後の基地再編成や埼京ライン等を見ながら検討している。

マネジメントオフィスというのは、マネジメントオフィス配属？現場から集まる？

兼務で働く方もいる。

各営業統括センターを枠組みした理由は？

東京・新宿・上野に関しては、規模の大きい地区駅であるということと、地区の見直し、駅の様々な担務の融合をしっかりと図りながら、マネジメントオフィスとの連携を図るためである。

本社の資料でも、どのような働き方になるのかが分からず、社員が混乱する。

東京支社としてイメージをして社員周知をしていく。

施策実施は安全や働きがいの向上が大前提！

解明交渉を申し入れ、団体交渉に臨みます！